



2024年2月29日

各位

会社名 暁飯島工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 植田俊二
(コード番号：1997 東証スタンダード)
問合せ先 取締役上席執行役員 片桐倫明
電話 029(244)5111

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2024年2月29日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社の現状を評価・分析し、改善に向けた方針を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状評価

当社は、「健全なる企業活動を通じ 誠意を以って 社会に貢献する」ことを経営の基本方針としどのような環境下に置かれても、持続的発展が可能である企業となり、また株主をはじめとするステークホルダーの皆様の期待や信頼に応えるべく企業価値の向上を目指しております。

① 資本収益性

当社の株主資本コストは、概ね4.5%~5%台で推移しております。当社のROEは株主資本コストを上回る水準で推移しておりますが、直近では株主資本コストと同水準の低下傾向にあり、ROEの改善が重要であると認識しております。

② 市場評価

当社のPBRは、0.4倍~0.5倍台となっており、1倍を下回る水準で推移しております。好業績時においても、市場からの評価を得られていないことや当社の将来性に向けた成長性が投資家から十分に評価されていないことから株価も割安で推移しているものと認識しております。

2. 方針及び目標

当社は、2023年10月12日に公表いたしました第Ⅱ期中期経営計画に基づき、資本収益性及び市場評価の改善に取り組み、企業価値の向上を目指してまいります。

3. 改善に向けた具体的取り組み

① 収益力の向上

第Ⅱ期中期経営計画の着実な遂行により、収益力及びROEの改善を図ってまいります。

- 1) 強固なビル空間事業サイクルの実現による高収益体質
- 2) 建築・電気設備を含めた省エネ・リニューアル提案
- 3) 業務改革・業務効率化投資の推進

② 資本政策・配当政策

当社の本業である設備工事業の利益成長により、営業キャッシュ・フローを創出し基盤事業への投資を行い、資本コストを上回るリターンを得てまいります。配当政策につきましては、株主に対して安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。当期利益が計画値を超えた場合は増配し、自己株式の取得につきましても、業績の動向を勘案しながら機動的に実施してまいります。

③ IR 活動

当社は、適切な財務情報や非財務情報等を開示し、ステークホルダーの皆様へ当社への理解や信頼を高めていただき適切な企業価値の評価につなげるため、個人投資家向け説明会等の IR 活動を積極的に実施してまいります。

	第 66 期 2019 年 8 月	第 67 期 2020 年 8 月	第 68 期 2021 年 8 月	第 69 期 2022 年 8 月	第 70 期 2023 年 8 月
受注高(百万円)	6,697	7,599	7,575	7,166	8,449
売上高(百万円)	7,595	8,411	7,407	7,332	6,637
営業利益(百万円)	725	1,035	957	710	442
当期純利益(百万円)	488	657	669	491	313
期末株価(円)	1,333	1,490	1,528	1,325	1,368
BPS(円)	2,235.34	2,577.71	2,869.11	3,034.61	3,115.69
EPS(円)	242.5	330.8	336.8	247.4	154.0
PBR(倍)	0.59	0.58	0.53	0.44	0.44
PER(倍)	5.4	4.6	4.5	5.4	8.8

以上